

5 指導計画（○時間扱い）

時	学習内容	評価			
		関意態	思考	技能	知識
1					
2					

6 自作教材（パフォーマンス課題）

○自作教材（パフォーマンス課題）のねらい

※授業で学習したどのような力を使うための課題なのか。どのような児童の姿を想定して課題を作成したのか。など

7 本時の指導（本時 ○／○）

（1）目標

（2）指導過程

時間	学習活動	主な発問（◎）指示（○） 児童の反応（・）	留意点（・） 視点への手立て（☆） 評価基準（□）
導入 ○分			
展開 ○分			
終末 ○分			

○評価（↓例：ルーブリック評価）

	学習へのやる気	学んだことの活用	学び合い
A			
B			
C			

8 板書計画

月 日

9 自作教材（パフォーマンス課題）＝算数大魔王プリント

7 平成31年度 学校研究推進計画

月	日	曜	内容	授業者	司会	記録	写真
4	3	水	第1回研究推進委員会 今年度の研究の方向性と重点 授業づくりの視点・指導案の書き方		副研究 主任		
4	24	水	第1回学校研究全体会 今年度の研究の方向性と重点 授業づくりの視点・指導案の書き方		副研究 主任		
5	15	水	事前研①				
5	17	金	森田智幸先生（山形大学大学院教 育実践研究科准教授）講演会	全学年通覧 4年 高橋	教務主任	研究 主任	副研究 主任
6	5	水	第1回校内授業研究会	2年 川内 4年 高橋	教務主任	菅原 岡部	信夫 尾形
8	28	水	事前研②				
9	18	水	第2回校内授業研究会	3年 菅原 6年 岡部	教務主任	信夫 尾形	松田 齋藤
10	16	木	八幡小外国語授業研究会				
10	23	水	事前研③				
11	13	水	第3回校内授業研究会	1年 信夫 5年 尾形	教務主任	松田 齋藤	川内 高橋
11	19	火	鳥海八幡学区授業研 鳥海小				
11	20	水	事前研④				
12	4	水	第4回校内授業研究会	たんぼぼ 松田 つくし 齋藤	教務主任	川内 高橋	菅原 岡部
1	17	金	研究紀要原稿提出				
1	29	水	第2回学校研究全体会 校内授業研究会の成果と課題来年 度の方向性		副研究 主任	遠田	
3	9	月	研究紀要完成・関係機関への送付		研究主任		

※研究通信は、記録になった人からデーターをもらい、それをもとに研究主任がまとめる。

8 授業研究への姿勢

- ・子どもたちに力をつけるために、教師の学習指導力の向上が必要であり、共に学び合う姿勢に立つ。
- ・子どもたちの実態を把握し、その変容をねらう質の高い授業を目指す。
- ・一人ひとりの子どもの見取りを大切に、「子どもの内面の質的変容」を中心にお互いの授業を参観し、成果や課題を明確にしていく。
- ・年度の終わりに、校内授業研究会で行った授業の中から実践報告をまとめる。